

令和 3 年度産業経済研究委託事業（新たな託送料金制度における定量的な分析手法の検討及び海外調査事業）

事業概要（案）

令和 3 年 2 月

（事業内容）

新たな託送料金制度における収入上限の算定にあたって、定量的な分析手法（統計手法）を用いた事業者間比較による効率的な費用算定等を志向しているところ、一般送配電事業者等の保有する実データを用いて、我が国における算定手法を検討する。詳細な手法の検討にあたっては、欧州の先例情報についても整理・参照しながら進めることとする。加えて、英国 RIIO2 における収入上限算定の概要、及び規制機関による事業者計画の審査プロセスについても調査する。

調査にあたっては、各国の規制機関や送配電事業者等のホームページ、既存文献等から情報を収集し、必要に応じて、国内外関係者や専門家へのメール・電話等によるヒアリングを実施する。

①我が国における定量的な統計分析手法の検討

- ・ 令和 2 年度産業経済研究委託事業（諸外国における託送料金制度の詳細設計及び需給調整市場等における価格規律と監視等に係る調査事業）における調査内容を踏まえた、OPEX、CAPEX（送電設備・変電設備・配電設備）の費用算定における定量的な分析手法の検討
- ・ 実際の査定に利用可能な分析用データ入力フォーマット、及び分析マニュアルの整備

②海外における定量的な統計分析手法等の事例調査

- ・ 欧州（英国を含む 3 カ国程度）の送配電事業者における主な費用費目（人件費・委託費等の OPEX 関連費目、資材費・工事費等の CAPEX 関連費目）の費用水準・経年変化の調査
- ・ その他英国・ドイツ・ノルウェー等における統計分析内容の詳細調査

③英国 RIIO2 における査定概要、規制機関による事業者計画の審査プロセスの調査